

和文誌「藻類」投稿案内

1. 編集方針と投稿資格

本誌には藻学に関する未発表の原著論文（和文論文と短報）および速報のほか、総説、大会講演要旨、藻類に関する企画および投稿記事（藻類採集地案内、書評・新刊紹介、学会シンポジウム紹介、学会事業案内など）を掲載します。原著論文は和文誌編集委員会（以下編集委員会）が依頼する審査員による審査を経たのちに編集委員長によって掲載の可否が決定されます。速報およびその他の投稿原稿の掲載の可否は編集委員長と編集委員会が判断します。なお、編集委員会が依頼した場合を除いて、投稿は会員に限ります。共著の場合、著者の少なくとも一人は会員であることが必要です。

2. 原稿執筆・投稿要領

原著論文の構成を1)～4)に示します。オリジナルの原稿と図表1組とそれらのコピー2組（写真を含む図版はこれを写真複写したもの。電子複写は不可）を編集委員会に提出してください。

その他の報文の様式は、最新号を参照して作成し、オリジナルとコピー1部を提出してください。

1) 標題等

和文：標題，著者名，所属，住所，欄外見出し，連絡著者の連絡先（住所，tel，fax，e-mail）

英文：標題，著者名，所属，住所，要約（200語以内），キーワード（abc順）

2) 本文

緒言，材料と方法，結果，考察（または結果と考察），謝辞からなります。なお短報ではこれらの項目を区別せず，一連の文章にすべてが含まれます。なお，本文中での文献，図および表の引用例を以下に示します。

「・・・が知られる（Yamada 2002）。」「山田ら（2002，p. 25）は・・・した。」「・・・がみられる（図2，表3）。」

3) 引用文献

本文中で引用したすべての文献を下記の例にならい，和文論文も含めて著者名のabc順に並べる。

（雑誌中の論文）著者 出版年．論文標題．雑誌名 巻：掲載頁．

山田幸男・田中太郎 2002．日本産海産付着珪藻の分類．藻類 50：100-110．

Yamada, Y. and Tanaka, T. 2002. Taxonomy of diatoms. J. Phycol. 50: 100-110.

（単行本）著者 出版年．標題．出版社．所在地．

山田幸男 2002．日本の海藻．いろは出版．東京．

Yamada, Y. 2002. Seaweeds. A Taxonomic Survey. ABC Print. London.

（単行本中の章）著者 出版年．引用した章の標題．同掲載頁．編者 単行本標題．出版社．所在地．

山田幸男 2002．海藻の観察．p. 10-20．田中太郎他（編）海藻研究．いろは出版．東京．

Yamada, Y. 2002. Dictyotales. p. 10-20. In: Tanaka, T. (ed.) Seaweeds. ABC Print. London.

（叢書中の分冊）著者 出版年．引用した章の標題．編者 叢書標題．版と分冊番号．出版社．所在地．

Yamada, Y. 2002. Dictyotales. In: Tanaka, T. (ed.) Seaweeds. 2(3). ABC Print. London.

4) 図（写真は図とします）と表，およびその説明

図には倍率を示すスケールを入れ，必要に応じて矢印や文字などを貼り付け．写真は光沢印画紙に鮮明に焼き付け，不要なスペースをカット．表の罫線は横線のみ．図，表ともに脱落防止のために台紙とカバーをつけ，下端に著者名，図，表の番号を記入．図，表は原則的には編集においてスキャナーで取り込み，縮小します．なお pict ファイル等のデジタルデータがあれば添付してください．実際の印刷では，幅は1段8.5cm，2段17.5cm，縦は最大で24cmとなります．図，表の説明は原稿の末尾に英文，和文または和英併記で記入．

3. ワープロ入力の注意

本誌はDTPによって作成されます．掲載決定後，最終原稿のファイルが保存されたフロッピーディスク等を提出していただき，印刷版下を作成します．したがって，テキストファイル形式で保存できるコンピューターで原稿を作成するようにしてください．ファイルの互換性が不明な場合は編集委員会までお問い合わせください．

原稿作成にあたっては次の点に注意してください。

- 1) A4用紙に1行40字、25行で印刷する。
- 2) 当用漢字、新かなづかいを使用する。
- 3) 句読点は「、」と「。」を用い、「、」や「。」を使用しない。
- 4) スペースキーは学名や英単語の区切り以外には使用しない。
- 5) リターンキー（改行）の使用は段落の終わりだけに限定し、1行ごとに改行しない。
- 6) 段落行頭や引用文献の字下げにはタブ、インデント機能を使用する。
- 7) 数字とアルファベットは半角、カタカナは全角を使用する。
- 8) ギリシャ、独、仏、北欧文字や数学記号などの特殊文字は、出力原稿中に赤字で明記する。
(例：uをü, uをμ, eをé, OをØと赤字で記入)
- 9) 新種記載や学名の使用は最新の国際植物命名規約に従い、和名は全角カタカナを使用する。
- 10) 本文中ではじめて使用する学名にのみ著者名をつける。属と種小名には下線を引く。
- 11) 単位系はSI単位を基本とする。原稿中で使用できる主な単位と省略形は次のとおり。
(時間 hr, min 長さ m, mm, nm 重量 g, mg 容積 L, mL 温度°C 波長 nm 光強度 Wm, $\mu\text{mol m}^{-2} \text{s}^{-1}$)

4. 校正

校正は初校のみとします。DTPで割り付けたファイルをPDFファイルに変換してe-mailで送りますので、無料のPDFファイル閲覧ソフトAcrobat Readerなどで画面上もしくは印刷して校正していただきます。校正の結果はe-mailでご返送ください。図表等は解像度が低い場合がありますので図表の最終チェックは編集委員会におまかせください。なお、PDFファイルを扱えない場合は従来どおり校正刷りをファックスもしくは郵送します。校正はレイアウトおよび提出ファイルからデータ変換が正しく行われているかを確認するにとどめ、校正は受領後3日以内に編集委員会宛ご返送ください。

5. 制限頁と超過頁料金

原著論文は刷上がり10頁、短報4頁、総説16頁以内を無料とします。頁の超過は制限しませんが、超過分については超過頁料金（1頁あたり12,000円）が必要です。速報は2頁以内とし有料です。その他の報文、記事については、原則として2頁を無料とします。2,700字で刷上がり1頁となる見当です。そのほか、折り込み頁、色刷りなどの費用は著者負担となります。

6. 別刷

別刷は原著論文、総説に限り50部を学会で負担しますが、それ以外は有料です。別刷価格は2ページ50部当たり800円が基本ですが、1-2ページの場合に限り1,600円となります。また送料および発送手数料1,500円が加算されます。原則として別刷は表紙無しとなります。編集委員会より校正時前後に別刷申込みのご案内申し上げます。

別刷料金の算出例：4頁250部の場合は800円×2×5＝8,000円に、発送手数料1,500円が加わって8,000円＋1,500円＝9,500円となります。頁数は、奇数ページで始まり奇数ページで終わる場合は1頁加算し、偶数頁で始まり奇数頁で終わる場合は2頁加算されます。

和文誌「藻類」は会員の皆様で作る会誌です。
ご投稿お待ちしております。

和文誌編集委員会より

賛助会員

北海道栽培漁業振興公社 (060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目北海道第二水産ビル4階)
阿寒観光汽船 株式会社 (085-0463 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔)
全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (108-0074 東京都港区高輪 2 - 16 - 5)
有限会社 浜野顕微鏡 (113-0033 東京都文京区本郷 5 - 25 - 18)
株式会社 ヤクルト本社研究所 (186-8650 東京都国立市谷保 1769)
神協産業 株式会社 (742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962 - 1)
理研食品 株式会社 (985-8540 宮城県多賀城市宮内 2 - 5 - 60)
マイクロアルジェコーポレーション (MAC) (104-0061 東京都中央区銀座 2 - 6 - 5)
(株) ハクジュ・ライフサイエンス (173-0014 東京都板橋区大山東町 32 - 17)
(有) 祐千堂葛西 (038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 38 - 10)
株式会社 ナボカルコスメティックス (151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 - 29 - 7)
日本製菓 株式会社ライフテック部 (598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)
共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザ11階)

海産微細藻類用培地

<特徴>

- ◎ 多様な、微細藻類に使用できる。
- ◎ 手軽に使用できるので、時間と、労力の節約。
- ◎ 安定した性能。
- ◎ 高い増殖性能。

海産微細藻類用 ダイ IMK培地

- ・ 100L用×10 コード：398-01333
- ・ 1000L用×1 コード：392-01331

海産微細藻類用 IMK培地添加人工海水 ダイ IMK-SP培地

- ・ 1L用×10 コード：399-01341

海産微細藻類培養 ダイ 人工海水SP

- ・ 1L用×10 コード：395-01343

「多くの微細藻類に共通して使える培地が市販されていない。」
という声にお答えして、“株式会社 海洋バイオテクノロジー研究所”
により、研究開発された培地です。

又、人工海水は海水 SP の成分が自然に近い形で混合されており、
精製水に溶かすだけで海水として手軽に使用できます。

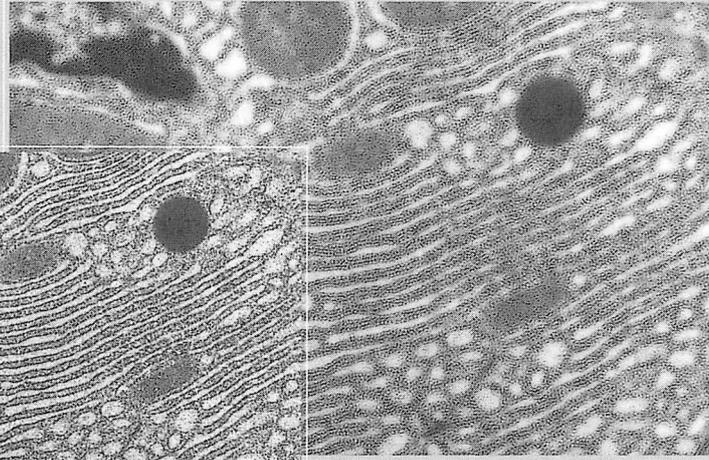
※人工海水 SP は千寿製菓株式会社の技術提携商品です。

製造  日本製菓株式会社 ライフテック部
大阪府泉佐野市住吉町 26 番
〒598-0061 TEL 0724-69-4622
東京都千代田区東神田一丁目 9 番 8 号
〒101-0031 TEL 03-3869-9236

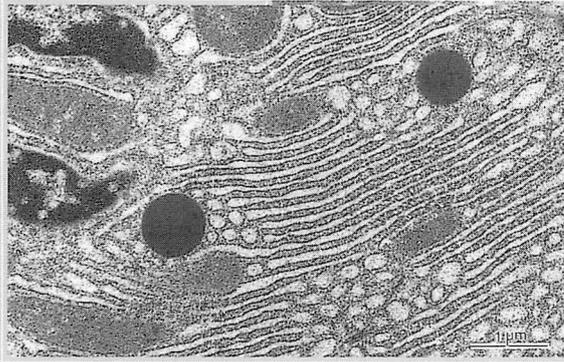
販売  和光純薬工業株式会社
大阪府中央区道修町三丁目 1 番 2 号
〒541-0045 TEL 06-6203-3741
東京都中央区日本橋四丁目 5 番 13 号
〒103-0023 TEL 03-3270-8571

HITACHI

オートフォーカスOFF



オートフォーカスON



すっきり画像をすべてのユーザーに—— 高速オートフォーカス

特長

- 1 高速オートフォーカス機能を搭載し、0.9秒で焦点合わせが可能
- 2 TVカメラを標準装備し、明るい部屋で試料の視野探し撮影が可能
- 3 PC制御、GUI採用により、容易な操作
- 4 ネットワーク対応でリモート操作が可能 (オプション)

仕様

分解能：0.204nm(格子像)、0.36nm(粒子像)

試料ステージ：高精度ハイバーステージ

加速電圧：40~120kV

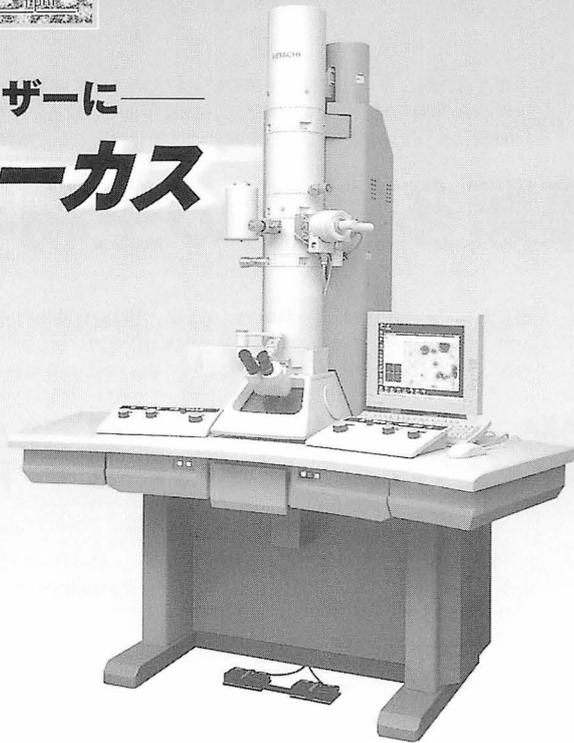
倍率：Low Magモード×50~×1,000
Zoomモード×700~600,000

株式会社日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号
電話ダイヤルイン(03)3504-7211

事業所 北海道(札幌) (011)221-7241 関西(大阪) (06)4807-2551
東北(仙台) (022)264-2211 京都(京都) (075)241-1591
筑波(土浦) (0298)25-4811 四国(高松) (0878)62-3391
横浜(横浜) (045)451-5151 中国(広島) (082)221-4514
中部(名古屋) (052)593-5851 九州(福岡) (092)721-3501
北陸(金沢) (0762)63-3480

インターネットホームページ <http://www.hitachi-hitec.com/science/>



日立電子顕微鏡

H-7600

新刊

有用海藻誌

海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 編著 B5判上製・総頁592頁・本体価格20000円

本書は海藻の生物学の解説にはじまり、応用の具体的事例を数多く紹介するとともに、今後期待される新分野、機能性成分についても現在得られている知見を盛り込む。生物学編、利用編、機能性成分編の3編31章から構成され、それぞれの分野で、長く研究にかかわってきた執筆者が、専門の分野を詳述する。

【内容目録】有用海藻の生物学 ヒトエグサ／アオサ類／アオノリ類／イワズタと暖海産緑藻／ワカメ／コンブ／モズク類とマツモ／ヒバマタ目類／アラメ・カジメ類／アマノリ類／テングサ類／オゴノリ類／ツノマタ類／サンゴモ類／地方特産の食用海藻／世界の海藻資源の概観 海藻の利用 海苔産業の歴史とその推移／昆布産業の歴史・現況と展望／ワカメ産業の現状と展望／ひじきと海藻サラダ産業の現状の展望／沖縄のモズク類養殖の発展史—生態解明と養殖技術／青海苔産業の歴史と現状／伝統的な寒天産業／カラギナン—その産業と利用—／アルギン酸—その特性と産業への展開—／藻の文化 海藻の機能性成分 海藻の抗がん作用／海藻と健康—老化防止効果—／海藻の化学成分と医薬品応用への可能性／海藻と肥料／海藻と化粧品 学名索引 和名索引 事項索引

新日本海藻誌 — 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著

B5判・総頁1248頁・本体価格46000円

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、1997年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

藻類多様性の生物学

千原 光雄 編著

B5判・400頁・本体価格9000円

第1章 総論 第2章 藍色植物門 第3章 原核緑色植物門 第4章 灰色植物門 第5章 紅色植物門 第6章 クリプト植物門 第7章 渦鞭毛植物門 第8章 不等毛植物門 第9章 ハプト植物門 第10章 ユーグレナ植物門 第11章 クロララクニオン植物門 第12章 緑色植物門 第13章 緑色植物の新しい分類

淡水藻類入門 淡水藻類の形質・種類・観察と研究

山岸 高旺 編著

B5判・700頁(口絵カラー含む)・本体価格25000円

「日本淡水藻図鑑」の編者である著者がまとめる、初心者・入門者のための書。多種多様な藻類群を、平易な言葉で誰にも分かるよう、丁寧に解説する。I編、II編で形質と分類の概説を行い、III編では各分野の専門家による具体的事例20編をあげ、実際にどのように観察・研究を進めたらよいかを理解できるように構成する。

小林珪藻図鑑 近刊

小林 弘 著
南雲 保・出井雅彦・真山茂樹・長田敬五

日本の赤潮生物

—写真と解説—

福代・高野 共編
千原・松岡

B5・430p・13000円

原生生物の世界

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

丸山 晃 著
丸山雪江 絵

B5・440p・28000円

藻類の生活史集成 堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5・448p(185種) 8000円

第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p(171種) 8000円

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p(146種) 7000円

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・38000円

陸上植物の起源

—緑藻から緑色植物へ—

渡邊 信
堀 輝三 共訳

A5・376p・4800円

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-34-3
TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

内田老鶴園